

主催：自主運営楽団 City Baroque & Daisuke IIDA
協力：株式会社クラシックアーツ

Special Concert

聖グレゴリオの家賛助会チャリティーコンサート ～聖グレゴリオの家活動支援のために～

芸術で結ぶ人間と地域の絆 シティ・バロック 第180回特別定期演奏会

東久留米・聖グレゴリオの家 宗教音楽研究所 聖堂

2022年9月17日（土） 開演13時00分 開場12時45分

全席自由 ￥2,000円

(感染予防対策につきご入場の際はマスクの着用、検温と消毒にご協力をお願いいたします)

チケットお問い合わせ：

完全予約制につき、聖グレゴリオの家、又はシティ・バロックHPよりお問合せください。

Program

City Baroque シティ・バロック 芸術監督・飯田大介

ライヒャ・ハイドン・ダンツィ 木管五重奏

古楽器によるバロック室内楽シリーズ

バッハ・フルートの無伴奏パルティータ

コレルリ・トリオソナタ

他



東京生まれ。祖父は中国人。バロック・バイオリン、バロック・ビオラ奏者。

ヘンデル・コレギウム、City Baroque 芸術監督。香港Die Konzrtistenゲスト楽団員。

日中文化交流協会会員。アジア芸術国際交流委員会会長。

スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団2020年海外派遣助成受賞者(スウェーデン”ルーマン”研究)。

手兵Handel Collegiumを国内・海外公演で成功させるなど手腕を発揮し東京、香港、台湾などアジアを中心としたバロック音楽啓蒙活動をライフワークに据え活動。弟子の育成にも情熱を注ぎ現在までに門下生は東京芸術大学、桐朋学園大学などへ進学、また台湾・高雄にも古楽アンサンブル門下を育成しバロック奏法指導に従事。都立新宿高校卒業後渡英、イギリス・ロンドン・ギルドホール音楽院へ進学。バイオリンをゲルハルト・シュミット氏(ウイーン・フィル)、バロック・バイオリンをオリバー・ウエバー氏(London Handel Players)に師事。優れた両名教師に見出され徐々に頭角を現し古楽へ傾倒、帰国後は桐朋学園大学音楽学部CollegeDipolomaコースを経て東京芸術大学古楽科にて更なる研鑽を続けた。